

シグマ研究委員会 核構造・崩壊データ専門部会

核構造データ W. G. サブグループ会合

日 時：昭和58年2月9日（水）13：30～17：30
場 所：原研東海研究所 核物理第1研19号室
出席者：橋爪，天道（理研），喜多尾（放送研），田村（原研）

議 事：1. 日本で発生する核実験文献データの編集
2. 文献データ編集プログラム

1. 核実験文献データの編集

(1) 日本で発行される原子核実験関係の論文を，Recent References に掲載するためにつぎの項目についてデータをつくる必要がある。

- (i) KEYNO
- (ii) HISTORY
- (iii) AUTHORS
- (iv) TITLE
- (v) KEYWORS
- (vi) SELECTORS

(i), (ii)は NNDC の分担範囲である。(iii), (iv)はかなり機械的に行える。(v), (vi)は個々の論文をある程度読む必要があり，時間がかかりそうである。

(2) とくに重要な文献について，つぎの分担で作業を進めることにした。

- (i) 筑波大年報（1981，1982），京大原子炉年報（1982）：喜多尾
- (ii) 核理研半年報（1981，1982），東北大理年報（1981，1982）
：田村
- (iii) 理研年報（1981，1982），阪大理及び核物理センター年報：橋爪，
天道

2. 文献データ編集プログラム

(1) 56年度に文献データの編集用として KEMATFT を作成した。これは，

Recent References で必要な小文字, グリシヤ文字, 特殊記号を通常のパンチカードの文字から発生させることができる。すでに使用可能の状態にあるので, これを使って Recent References のフォーマットの文献データを作成して NNDC に送ることができる。

3. スケジュール

昭和 58 年 5 月末に JAERI-memo の形にまとめ, 検討結果を NNDC へ送る予定で作業を進める。